



JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン
発行者 菅野 一位
編集者 教 宣 部
〒105-0021
東京都港区東新橋 2-8-28
TEL(JR) 057-7333
TEL(NTT) 03-6452-9687
ホームページ検索
「JREユニオン」

基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

自らを変える!! 明日を創る!! イーストイノベーション

JR連合結成30周年

JR東日本これまでの労働組合の検証と私たちの労働運動

1. JR東日本の労働組合の流れ

- ・1987年4月国鉄からJRへ労働組合も鉄道労連からJR総連の結成へ
- ・国鉄民営分割の賛否により、労働組合色は大きく変化した
- ・雇用不安から、分割賛成組合への移動、動労のコペ転
- ・政治の圧力が直接社員にも感じられる状況にあった
- ・1992年5月JR総連から脱退し、鉄産総連とともにJR連合を結成
- ・2014年5月ジェイアール・イーストユニオン(JREユニオン)を結成

と民営分割という政策により、大胆な職場改革の必要性和職場内の規範や基準が変わっていくことにより、社員の意識の変化と共に組合員の労働組合間での大移動が起きた事に起因します。

2. なぜ組合結成、労組再編を繰り返してきたのか

まず、検証すべきは「根底にある国鉄倒産に至った原因」です。経営側の問題としては、「顧客を創造することができなかったこと」が、鉄道としての使命がトップマネジメントされていなかったこと。市場動向、市場構造、そしてその変化に対応できなかったことがありま

ない、起きていても解決することに意欲が持てない環境にあったこと。



では、労働者側の問題はどうか。職員自身で判断し考え行動することを、多くの職員が放棄していたこと。問題に気づか

仕事の理論として、働くものが満足しても仕事が生産的に行わなければ失敗であると思いません。逆に、仕事が生産的に行われても、社員が生き生きと働けなければ失敗です。仕事をするのは人であって、仕事は常に人が動くことによつて生産されます。労使双方が、その生産性を上げることと働くことの違いに気づかなかつた結果、「国鉄」を倒産させてしまいました。

3. なぜJR総連、JR東労組ではいけないのか。

私たちのJREユニオン組合員の多くはかつてJR総連・東労組の組合員でした。では、なぜ「国鉄改革」をJR東日本にあって主体的に協力したJR総連・JR東労組を脱退し新しい労働組合創造を決意しなければならなかったのか。左翼イデオロギーの

組織ではよくある傾向ですが、組織が全体主義的になり、組織のリーダーがカリスマ性を強め、結果として組合員自身で判断し考え行動することを放棄してしまう組合員が多数となつてしまいました。私たちはこうした状況を危惧し、国鉄改革の二の舞となる危険な兆候であると考えました。このままでは再び国鉄の犯した愚を繰り返してしまふ。再び会社を倒産させてはならない。再び仲間を迷わせてしまふ。そんな思いから「まず塊よりはじめよ!」のたとえの通り、一時期会社の理解を得られない時期があつたとはいつか理解して戴けるとの考えから新たな組織の創造に踏み切りました。

なぜ組織再編を繰り返すのか。

それは歴史に学ばなければなりません。これまでの間、左翼イデオロギー集団は、彼ら特有の純粋性(?)から運動方針なり、運動手法の異なりから組織化、派閥化を行つてきました。(次号へ)